

全国地域作業療法研究大会 第23回学術集会開催報告書

開催期日：平成30年2月24日（土）・2月25日（日）

開催場所：北九州国際会議場

開催テーマ：「健康づくり，地域づくり，そして就労へ」

参加人数：作業療法士68名・Dr1名・理学療法士2名・一般、他職種8名・学生4名
2日間述べ134名



講師陣は、幅広い分野から向かえ、行政での地域づくりの取り組み・地域包括ケアシステムの実践・就労支援と継続へのチャレンジ・議員としての地域課題解決の内容など、具体的な取り組みの講演をしていただき、平成30年度の医療、介護、障害福祉のいわばトリプル改定で揺らぐ中、常に新しい課題にチャレンジしていくヒントをいただきました。

一般演題発表では、現代における様々な研究や取り組みの発表があり、課題解決に向けた、エビデンスが重要で、検証を重ねて新たな取り組みを実践していく必要性を強く感じました。

公開シンポジウムでは、当学会のテーマでもある「健康づくり，地域づくり，そして就労へ」というお題の中で開催いたしました。健康づくりについての歴史・産学官民の連携・対応方法、医療・介護・障害福祉分野での作業療法士の具体的な介入方法など実践的な取り組みを含めた内容で、新たな情熱を燃やすヒントをいただき、新たなビジネスモデルを学ぶことも出来ました。懇親会では、30名の方に参加していただき、作業療法や他職種との連携、一般市民・県民への啓発、ビジネススタイルや新規の事業開拓など、未来の展望について熱く語り合いました。

当学会を通じて、それぞれの分野で活躍する作業療法士へのヒントが多くあり、新たな取り組みを実践していくきっかけとして学ぶことが出来たと感じます。又、市民や県民への作業療法の啓発をどのようにしていくか、他職種との連携をどのように実践していくか、多くの課題と取り組み方への道がひらけたすばらしい内容だったと感じています。

他の行事やイベントと日程が重なってしまい、会場があふれんばかりの参加者とはなりませんでしたが、出会いと学びを得ることが出来た学会になったと思っています。

ご参加、ご協力いただいた全ての方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。